

## 研究課題名「名大病院での覚醒下脳腫瘍手術における麻酔管理の後方視的検討 麻酔導入前の神経ブロックについて」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2006年1月1日以降に当院で覚醒下脳手術を受けられた患者さんに対して本研究は対象となります。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

覚醒下脳手術の麻酔管理においては、手術中に患者さんを麻酔から覚醒させ、起きた状態での手術を行うことが求められます。この手術の麻酔管理法に関しては、施設ごとに種々の報告がこれまでになされています。名大病院（以下当院）では、これまでに約130症例の覚醒下脳手術が施行されており、国内有数の症例数となっております。

また、本年より確実でより良好な術中の鎮痛効果を期待する目的で、麻酔導入前に頭皮に分布する知覚神経の神経ブロックを覚醒下（起きている状態）で行う事としています。しかしながら、麻酔導入後（眠っている間）に神経ブロックを行う施設が一般的であることから、覚醒下で行う神経ブロックについての優位性などの検討はこれまでになされておられません。

今回、当院で行われた覚醒下脳手術を受けられた患者さんの麻酔記録並びに電子カルテから得られた病歴や検査結果を分析し、覚醒下脳腫瘍手術の麻酔管理について、国内外の他施設との比較検討を行うことを第一の目的とします。加えて、覚醒下で神経ブロックを行う医療行為について、従来の方法である導入後の神経ブロックと比較検討することを第二の目的とします。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

当院で使用されている電子カルテと麻酔記録システムから得られた、病歴、レントゲン写真をはじめとする画像検査、副作用等の発生状況、カルテ番号等といった情報が対象になります。得られた情報に関する個人情報の保護は厳格に行い、また、この研究に参加されている個人が特定されるような事はございません。

また、新たに患者さんから採血を行ったりすること等の医療行為を追加する事はございません。同様に、実際に手術中に摘出された標本などは用いません

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院 医学系研究科 麻酔科学講座

担当者 佐藤 威仁 (内線番号 4319)

研究責任者：西脇公俊

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

電話番号：052-744-2340 (麻酔科学講座 医局)

○苦情の受付先：

名古屋大学医学部経営企画課 電話 052-744-2479